

日本は喫煙規制の後進国——喫煙規制強化派がごく当然の如く語る常套句である。本当にそうなのか。今月は、フリーライターの山田一夫氏が昨年暮れに退して商業捕鯨を再開し、「さて、わが国は「鯨食は日本の文化だ」としてIWC(国際捕鯨委員会)から脱

たばかりで、各国から批判されかねず、神輿を下ろして「さて、一服」も憚られる時代になってしまったのか!ところで、各国から批判を受けた商業捕鯨について、わが国は「鯨食は日本の文化だ」としてIWC(国際捕鯨委員会)から脱したところ、イベントに喫煙は文化だ。ましてや人の集まるところでは、お祭りでも喫煙は犯罪扱いである。そもそも、祭りに酒やたばこは付きもので、日本の文化など世界の伝統・文化といつても過言ではない。しかし、禁煙原理主義の下で、お祭りでも喫煙は犯罪扱いである。

一方、喫煙について、都や関係者はIOC(国際オリンピック委員会)が「禁本年度51億円もの国費を投する」という。そもそも、祭りに酒やたばこは付きもので、日本の文化など世界の伝統・文化といつても過言ではない。しかし、禁煙原理主義の下で、お祭りでも喫煙は犯罪扱いである。

■祭事に酒とたばこは付きもの

わが国では「望まない受動喫煙の防止」ルールで屋外でさえ喫煙し難い状況になりましたが、目を海外に転ずると、筆者が旧冬、訪れたヨーロッパ(フランス、ベルギー、スイス)では屋外は喫煙自由であった。歩行喫煙も多いし歩道には吸い殻が散乱し、街は東京の方がずっとキレイだった。

一方、屋内は禁煙である。ただ、レストランのテラス席は屋外と見なされ、灰皿が置いてあるテーブルでは喫煙できる。また、入口にス탠ド灰皿を見かける。居住者のた

■屋外は喫煙自由これが「世界標準」

日本は喫煙規制の後進国——喫煙規制強化派がごく当然の如く語る常套句である。本当にそうなのか。今月は、フリーライターの山田一夫氏が昨年暮れに

いただく(編集部)。

——フリーライター 山田一夫——

■クリスマスマーケットのテーブルに灰皿

訪れたヨーロッパの喫煙環境の印象と日本との比較レポートを、次回は日本国内の喫煙規制の状況と問題点を報告していただく(編集部)。

『世界標準』から見劣りしない、わが国の喫煙規制・環境



歩道に吸い殻が散乱
(アムステルダム市/2019.12)



ビルの入口にスタンド灰皿
(パリ市/2019.12)

た。それどころか、独立採算のはずの商業捕鯨に、政府は「漁場調査」を名目に本年度51億円もの国費を投するという。

IOCが何と言おうと「喫煙は日本の文化だ」と護つてもらいたいのだ。

■外国人観光客に評価される日本の喫煙環境

だ。屋内禁煙は今や世界標準だから、これに異を唱えるつもりはない(個人的には「分煙」で問題ないと思っているが……)。

しかしながら、屋外(開放空間)が禁煙といいうのは世界標準から見れば異常である。

だから、現状の厳しい路

上(屋外)喫煙規制を維持したまま、オリンピック会場

周辺も禁煙ということになると、オリンピックで来日す

る観光客は「一体、どこで吸

えばよいのか。日本は禁煙国

か」と戸惑うのではなかろ

うか。これでは「おもてなし文化だ」としてIWC(国際捕鯨委員会)から脱

るところ、イベントに喫煙は

文化だ。ましてや人の集ま

るところでは、お祭りでも

喫煙は犯罪扱いである。

そもそも、祭りに酒やた

ばこは付きもので、日本の

文化だ。まことに、

たばこ店の皆さんは先刻ご承知のことだが、国鉄の債務償還のためのたばこ特別税が1998年に創設され、今でも喫煙者は0.82円/本、すなわち年に1千億円以上を負担している(累計3兆円)。関係のない国鉄のためにこれだけの巨費を負担しているのに、喫煙者に対する国の恩恵は全くない。やっと、喫煙所整備のための目的税創設への動きがあるようだが、とにかく急ぐ必要がある。また、自治体も喫煙所の拡大・充実のために積極的に地方たばこ税を投入すべきだ。

それにしても、たばこ特別税の恩恵を受けているJRが駅構内を禁煙にして喫煙所を設けないのは理解しがたい。JRに言わせれば、国鉄時代の債務は国の責任であり、それを国が喫煙者にご都合主義的に負担させることにしたのであって、JRの責任でも頼んだわけでもないという理屈なのだろう。

「親(国鉄)の借金、息子(JR)は「俺は知らぬ」と横を向く!!」

（上）日本の喫煙規制は遅れているか?



摩訶不思議なたばこ特別税

たばこ店の皆さんは先刻ご承知のことだが、国鉄の債務償還のためのたばこ特別税が1998年に創設され、今でも喫煙者は0.82円/本、すなわち年に1千億円以上を負担している(累計3兆円)。関係のない国鉄のためにこれだけの巨費を負担しているのに、喫煙者に対する国の恩恵は全くない。やっと、喫煙所整備のための目的税創設への動きがあるようだが、とにかく急ぐ必要がある。また、自治体も喫煙所の拡大・充実のために積極的に地方たばこ税を投入すべきだ。

それにしても、たばこ特別税の恩恵を受けているJRが駅構内を禁煙にして喫煙所を設けないのは理解しがたい。JRに言わせれば、国鉄時代の債務は国の責任であり、それを国が喫煙者にご都合主義的に負担させることにしたのであって、JRの責任でも頼んだわけでもないという理屈なのだろう。

「親(国鉄)の借金、息子(JR)は「俺は知らぬ」と横を向く!!」

1985年度(昭和60年度)紙巻たばこ販売実績

販売数量	対前年比	販売金額	対前年比
3,108億本	99.4%	30,769億円	100.1%

上位10銘柄の販売実績 (単位:百万本、%) (出典:JT)

順位	銘柄	数量	シェア
1	マイルドセブン	117,304	37.7
2	セブンスター	36,868	11.9
3	キャスター	23,446	7.5
4	キャビン85・マイルド	18,690	6.0
5	ハイライト	18,370	5.9
6	マイルドセブン・ライト	15,827	5.1
7	ホープ(10)	12,058	3.9
8	エコー	10,160	3.3
9	ピース(20)	7,431	2.4
10	マイルドセブン・セレクト	5,769	1.9

※シェアは国産+外国たばこに占めるシェア。

1985年度(昭和60年度)紙巻たばこ販売実績

順位	銘柄	数量	シェア
1	マイルドセブン	117,304	37.7
2	セブンスター	36,868	11.9
3	キャスター	23,446	7.5
4	キャビン85・マイルド	18,690	6.0
5	ハイライト	18,370	5.9
6	マイルドセブン・ライト	15,827	5.1
7	ホープ(10)	12,058	3.9
8	エコー	10,160	3.3
9	ピース(20)	7,431	2.4
10	マイルドセブン・セレクト	5,769	1.9

1985年度(昭和60年度)紙巻たばこ販売実績

順位	銘柄	数量	シェア
1	マイルドセブン	117,304	37.7
2	セブンスター	36,868	11.9
3	キャスター	23,446	7.5
4	キャビン85・マイルド	18,690	6.0
5	ハイライト	18,370	5.9
6	マイルドセブン・ライト	15,827	5.1
7	ホープ(10)	12,058	3.9
8	エコー	10,160	3.3
9	ピース(20)	7,431	2.4
10	マイルドセブン・セレクト	5,769	1.9

1985年度(昭和60年度)紙巻たばこ販売実